

1. 全員制中学校給食の実施方式等検討調査業務「業務報告書」における各実施方式の総事業費の内訳について
2. 小学校給食における直近 10 年間の児童数の推移及び現在の調理能力について
3. 親子調理方式による給食施設に係る建築基準法上の用途の取扱いについて

1 全員制中学校給食の実施方式等検討調査業務「業務報告書」における各実施方式の総事業費の内訳について

※ 法人の技術上のノウハウや営業上の秘密情報となる設定単価の根拠や他都市事例の近年の実績値、民間見積りなどについては、公にしないことを条件に任意で提供を受けていることから開示不可。

(1) 算出根拠（全方式共通）

項目	算出根拠
イニシャルコスト	
設計費	国土交通省告示第 15 条「官庁施設の設計業務等積算要領 平成 31 年 1 月改定版（国土交通省）」に定める業務報酬の算定方法に基づく。なお、人件費単価は、令和 5 年度設計業務委託等技術者単価（国土交通省）における「技術 C」の基準日額を所定労働時間 8 時間で除した金額を一時間当たりにより要する人件費として用いる。
工事監理費	国土交通省告示第 15 条「官庁施設の設計業務等積算要領 平成 31 年 1 月改定版（国土交通省）」に定める業務報酬の算定方法に基づく。なお、人件費単価は、令和 5 年度設計業務委託等技術者単価（国土交通省）における「技術 C」の基準日額を所定労働時間 8 時間で除した金額を一時間当たりにより要する人件費として用いる。
建設費	<p>（自校方式）</p> <p>近隣自治体において、学校内に調理室を整備した実績をもとに物価上昇を考慮して整備単価を 722 千円/m²として設定。一般財団法人建設物価調査会が公表している建設物価の指数が令和 5 年 4 月から基準が 2010 年基準（2010 年＝100）から 2015 年（2015 年＝100）に変更されたため、2015 年の単価を算出後 2023 年の整備単価を算出。</p> <p>なお、2023 年の物価指数は 5 月までのものを平均している（4 月と 5 月は予測値）。</p> <p>（センター方式）</p> <p>近隣自治体において、従来方式で整備した給食センターの実績をもとに物価上昇を考慮して整備単価を 645 千円/m²として設定。一般財団法人建設物価調査会が公表している建設物価の指数が令和 5 年 4 月から基準が 2010 年基準（2010 年＝100）から 2015 年（2015 年＝100）に変更されたため、2015 年の単価を算出後 2023 年の整備単価を算出。</p> <p>なお、2023 年の物価指数は 5 月までのものを平均している（4 月と 5 月は予測値）。</p>
調理設備費	調理室の調理設備の費用に対して民間見積りより設定。
調理備品費	調理室の調理設備の費用に対して民間見積りより設定。
配膳室調理設備費※	配膳室の調理設備の費用に対して民間見積りより設定。
配送車両調達費※	近年の実績値により車両調達に関する費用を 8,000 千円/台として設定。
開業準備費	開業までの準備（各種設備・備品等の試運転、台帳作成、研修、給食提供訓練等）に係る費用について、近年の実績を踏まえて設定単価を 8.0 千円/食として算出。

ランニングコスト（単年）

調理・洗浄・配送等業務費	民間見積りの3社平均より設定。
光熱水費	民間見積りの3社平均より設定。
建物保守費	警備、清掃、点検、外構保守管理業務などを対象とし、近年の実績を参考に15千円/㎡として設定。
建築物・建築設備修繕費	近年の実績に基づき建築物の初期費用に対する修繕費の割合を1～5年は0.03%、6～10年は0.17%、11～15年は0.14%と、建築設備の初期費用に対する修繕費の割合を1～5年は0.22%、6～10年は1.09%、11～15年は0.99%と設定し、イニシャルコストに当該割合を乗じて算出。
調理設備・備品等修繕費	近年の実績に基づき調理設備の初期費用に対する修繕費の割合を1～5年は0.45%、6～10年は1.71%、11～15年は2.19%と、調理備品の初期費用に対する修繕費の割合を1～5年は2.72%、6～10年は5.78%、11～15年は9.51%と設定し、イニシャルコストに当該割合を乗じて算出。
配送車両維持管理費	近年の実績値により車両調達に関する費用を設定。

(2) 各方式の総事業費内訳

※ 以下の各表における金額は、千円未満を切り捨てて表示しているため、合計と一致しない場合がある。

① 自校調理方式

実現可能性を考慮せずに、中学校63校全校に調理場を設置した場合の経費として算出。

費目 (千円)		
イニシャルコスト	設計費	3,143,549
	工事監理費	1,347,235
	工事費	16,540,815
	調理設備費	3,244,090
	調理備品費	322,020
	車両調達費	—
	配膳室調理設備費	—
	開業準備費	226,400
	合計	24,824,109
ランニングコスト	運営費	1,735,115
	配膳費	—
	配送・回収費	—
	光熱水費	421,580
	建物保守費	336,817
	建築物修繕費	2,012
	建築設備修繕費	8,558
	調理設備修繕費	8,246
	調理備品、食器・食缶更新費	3,397
	配送車維持管理費	—
	合計 (単年度)	2,515,725
	15年間	37,735,875
総事業費 (イニシャル+ランニング)	62,559,984	

② 親子調理方式（一部自校含む）

小学校の既存の調理場が活用可能な中学校を中心に親子調理方式（小⇒中）を組み合わせ、それ以外の57校については実現可能性を考慮せず、支部内の任意の2校を親子（中⇒中）の組合せとする。また、支部内の学校数が奇数となり、親子の組合せが成立しない場合は自校調理方式として、それぞれの経費を算出。

費目（千円）		親子	親子	自校	合計
		（小⇒中）	（中⇒中）		
イニシャルコスト	設計費	—	1,873,802	93,139	1,966,941
	工事監理費	—	803,058	39,917	842,975
	工事費	—	9,859,625	490,083	10,349,707
	調理設備費	—	2,835,653	94,410	2,930,063
	調理備品費	—	377,093	7,910	385,003
	車両調達費	56,000	216,000	—	272,000
	配膳室調理設備費	21,293	98,026	—	119,319
	開業準備費	—	211,200	4,800	216,000
	合計	77,293	16,274,458	730,259	17,082,009
ランニングコスト	運営費	—	1,371,683	43,450	1,415,133
	配膳費	—	197,200	—	197,200
	配送・回収費	—	206,250	—	206,250
	光熱水費	—	385,147	8,760	393,907
	建物保守費	—	377,227	9,980	387,207
	建築物修繕費	—	1,337	59	1,396
	建築設備修繕費	—	5,671	251	5,922
	調理設備修繕費	63	8,545	237	8,845
	調理備品、食器・食缶更新費	—	4,349	79	4,428
	配送車維持管理費	2,065	8,260	—	10,325
	合計（単年度）	2,128	2,565,669	62,816	2,630,613
	15年間	31,920	38,485,035	942,240	39,459,195
総事業費 （イニシャル＋ランニング）	109,213	54,759,493	1,672,499	56,541,204	

親子（小⇒中）：乾隆小⇒烏丸中、御所東小⇒中京中、朱雀第三小⇒洛風中、下京涉成⇒洛友中、東山泉⇒東山泉※、大原野小⇒大原野中、日野小⇒桃陵中

※ 東山区は東山泉小中1校のため、親子（小⇒中）は実現不可であるが、経費積算上、仮に組合せを想定。

自 校：二条中、栗陵中

親子（中⇒中）：上記以外54校

③ センター方式

費目（千円）		
イニシャルコスト	設計費	1,810,760
	工事監理費	776,040
	工事費	9,342,659
	調理設備費	2,993,000
	調理備品費	478,800
	車両調達費	416,000
	配膳室調理設備費	227,260
	開業準備費	208,000
	合計	16,252,519
ランニングコスト	運営費	719,964
	配膳費	256,263
	配送・回収費	287,374
	光熱水費	361,667
	建物保守費	194,010
	建築物修繕費	1,300
	建築設備修繕費	5,530
	調理設備修繕費	9,341
	調理備品、食器・食缶更新費	5,749
	配送車維持管理費	15,340
	合計（単年度）	1,856,537
15年間	27,848,061	
総事業費 （イニシャル＋ランニング）		44,100,581

④ デリバリー方式

費目（千円）		
イニシャルコスト	設計費	—
	工事監理費	—
	工事費	—
	調理設備費	—
	調理備品費	322,020
	車両調達費	504,000
	配膳室調理設備費	227,260
	開業準備費	—
	合計	1,053,280
ランニングコスト	運営費	3,144,130
	配膳費	—
	配送・回収費	—
	光熱水費	—
	建物保守費	—
	建築物修繕費	—
	建築設備修繕費	—
	調理設備修繕費	661
	調理備品、食器・食缶更新費	3,862
	配送車維持管理費	18,585
	合計（単年度）	3,167,238
15年間	47,508,570	
総事業費 （イニシャル+ランニング）	48,561,850	

⑤ 自校調理方式＋センター方式

費目（千円）				
		自校	センター	計
イニシャルコスト	設計費	307,843	1,618,120	1,925,963
	工事監理費	131,933	693,480	825,413
	工事費	1,619,818	8,348,729	9,968,547
	調理設備費	316,050	2,624,385	2,940,435
	調理備品費	33,340	405,985	439,325
	車両調達費	—	376,000	376,000
	配膳室調理設備費	—	201,015	201,015
	開業準備費	24,000	184,000	208,000
	合計	2,432,984	14,451,713	16,884,697
ランニングコスト	運営費	177,115	674,468	851,583
	配膳費	—	224,287	224,287
	配送・回収費	—	257,833	257,833
	光熱水費	45,095	321,343	366,438
	建物保守費	32,983	173,370	206,353
	建築物修繕費	199	1,189	1,388
	建築設備修繕費	841	5,059	5,900
	調理設備修繕費	806	8,641	9,447
	調理備品、食器・食缶更新費	356	5,141	5,496
	配送車維持管理費	—	14,160	14,160
	合計（単年度）	257,394	1,685,191	1,942,885
	15年間	3,861,540	25,281,750	29,143,270
総事業費 （イニシャル＋ランニング）	6,294,524	39,733,463	46,027,967	

自 校：二条中、洛南中、大枝中、深草中、藤森中、洛水中
 センター：上記以外57校

⑥ 自校調理＋親子調理方式＋センター方式

費目（千円）		⑥自校調理＋親子調理方式＋センター方式				
		自校	親子 （小⇒中）	親子 （中⇒中）	センター	計
イニシャルコスト	設計費	103,824	—	358,511	1,220,617	1,682,951
	工事監理費	44,496	—	153,647	610,920	809,063
	工事費	546,304	—	1,886,421	7,354,798	9,787,523
	調理設備費	104,500	—	565,933	2,486,000	3,156,433
	調理備品費	11,220	—	64,570	370,000	445,790
	車両調達費	—	48,000	32,000	352,000	432,000
	配膳室調理設備費	—	18,267	15,677	173,234	207,178
	開業準備費	8,000	—	36,000	160,000	204,000
	合計	818,344	66,267	3,112,760	12,727,569	16,724,940
ランニングコスト	運営費	59,000	—	233,523	628,972	921,496
	配膳費	—	—	32,863	192,310	225,174
	配送・回収費	—	—	33,000	228,292	261,292
	光熱水費	15,050	—	68,847	281,020	364,917
	建物保守費	11,124	—	38,411	152,730	202,265
	建築物修繕費	67	—	264	1,033	1,364
	建築設備修繕費	284	—	1,116	4,393	5,793
	調理設備修繕費	266	54	1,686	7,850	9,856
	調理備品、食器・食缶更新費	120	—	775	4,457	5,352
	配送車維持管理費	—	1,770	1,180	12,980	15,930
	合計（単年度）	85,911	1,824	411,665	1,514,038	2,013,438
	15年間	1,288,665	27,360	6,174,975	22,710,570	30,201,574
総事業費 （イニシャル＋ランニング）	2,107,009	93,627	9,287,735	9,287,735	46,926,514	

自 校：洛南中、洛水中

親子（小⇒中）：乾隆小⇒烏丸中、御所東小⇒中京中、朱雀第三小⇒洛風中、下京渉成⇒洛友中、大原野小⇒大原野中、日野小⇒桃陵中

親子（中⇒中）：二条中⇒上京中、大枝中⇒檜原中、深草中⇒桃山中、藤森中⇒伏見中

セ ン ター：上記以外47校

2 小学校給食における直近10年間の児童数の推移及び現在の調理能力について

以下の表において、児童数は学校現況調査の児童数とし、調理能力は小学校給食における現在の提供可能食数としてカレーや麺類、煮物、揚げ物、炊き込みご飯（防災備蓄米）など、小学校給食の代表的な献立10種類程度を例に、標準的な一釜当たりの食数を設定し、現況の回転釜の数などから算出している。また、中学生の給食は、栄養価やエネルギー量を満たすために小学校給食の1.4倍の分量が必要となり、下表の調理能力を割り戻すこととなる。

No.	小学校名	児童数										調理能力
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
1	元町	110	103	98	108	115	121	115	116	116	108	350
2	上賀茂	532	568	587	592	596	587	581	562	560	545	500
3	柊野	650	632	617	601	557	556	543	538	544	554	600
4	大宮	730	715	755	722	679	682	686	671	661	677	700
5	待鳳	360	378	365	356	364	343	343	336	325	329	600
6	鳳徳	252	271	272	298	265	256	259	259	271	263	500
7	紫竹	237	228	247	265	275	273	286	283	293	290	500
8	鷹峯	198	195	188	190	192	186	186	176	174	162	500
9	紫明	201	192	208	209	210	223	220	243	233	242	350
10	紫野	236	225	251	266	283	320	320	329	314	325	500
11	衣笠	272	256	264	268	279	280	284	269	258	249	350
12	金閣	524	493	463	437	424	404	391	371	367	359	600
13	大将軍	176	172	165	173	170	163	148	149	152	149	500
14	室町	260	263	257	261	260	260	250	249	240	236	350
15	京極	125	142	153	165	168	168	170	165	150	144	350
16	新町	452	462	466	479	492	517	506	509	513	483	500
17	西陣中央	635	625	626	602	570	543	522	496	498	476	600
18	乾隆	191	194	178	169	160	155	145	140	138	115	350
19	仁和	353	368	368	359	363	356	368	382	374	365	500
20	正親	181	185	174	175	164	170	178	159	155	161	350
21	二条城北	494	521	524	530	536	511	529	499	520	500	500
22	御所東					269	282	274	274	277	284	600
23	御所南	1,236	1,271	1,254	1,252	1,005	1,007	992	994	1,009	973	1,100
24	高倉	675	678	708	719	693	686	686	707	697	683	700
25	洛中	157	153	159	175	178	183	182	193	175	159	350
26	朱雀第一	482	467	488	493	482	499	502	497	494	477	500
27	朱雀第二	258	275	285	298	300	316	314	307	286	272	500
28	朱雀第三	327	328	320	325	332	342	340	343	329	318	500
29	朱雀第四	267	272	288	302	316	324	350	360	352	350	500
30	朱雀第六	175	181	181	177	165	157	152	160	166	170	500
31	朱雀第七	283	265	259	241	251	245	241	242	266	270	500
32	朱雀第八	370	385	393	410	420	416	416	417	431	422	600
33	洛央	564	564	567	623	612	629	614	620	615	597	600
34	下京涉成	274	273	251	248	249	255	270	256	243	239	500
35	下京雅				312	336	338	335	340	358	371	500
36	梅小路	263	254	252	253	260	264	274	268	272	274	500
37	光徳	297	281	273	264	257	258	256	261	287	288	500
38	七条	485	499	515	535	535	527	499	473	446	403	500
39	西大路	133	135	123	119	126	126	134	140	153	154	350
40	七条第三	373	397	393	406	427	452	457	488	506	529	600
41	東山泉(前期課程)	481	487	477	496	520	530	532	528	534	519	600
42	九条弘道	119	116	120	126	137	128	133	148	139	127	350
43	九条塔南	281	272	286	283	314	320	320	304	303	293	350
44	南大内	139	149	157	150	151	147	144	147	147	157	350

No.	小学校名	児童数										調理能力
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
45	唐橋	531	516	502	512	536	526	523	521	521	503	600
46	吉祥院	482	500	523	526	522	542	503	511	494	500	600
47	祥栄	426	431	395	395	379	351	331	302	291	275	500
48	祥豊	403	398	387	396	377	374	371	374	379	360	500
49	上鳥羽	349	365	370	376	379	377	386	378	379	381	500
50	大藪	428	416	409	381	391	410	405	414	417	429	500
51	久世西	643	643	645	653	642	671	688	685	694	725	700
52	明德	591	568	584	580	585	606	602	599	582	558	600
53	岩倉南	772	803	773	790	832	855	862	811	844	842	700
54	岩倉北	303	293	299	317	312	316	304	299	309	318	500
55	八瀬	53	50	61	59	60	63	60	59	52	41	350
56	市原野	318	308	285	289	280	265	252	237	233	216	500
57	鞍馬	18	19	22	16	18	22	20	20	18	17	350
58	錦林	505	516	529	558	577	593	610	608	573	571	600
59	第三錦林	221	215	227	221	223	226	223	231	223	214	350
60	第四錦林	287	281	275	280	273	277	268	254	243	237	350
61	北白川	338	313	326	330	332	345	379	397	378	388	500
62	養正	159	156	157	161	153	143	138	128	123	125	350
63	養徳	380	411	414	423	423	409	415	420	398	385	500
64	下鴨	334	342	358	355	359	362	369	347	344	337	500
65	葵	430	429	430	443	446	450	469	500	488	477	500
66	修学院	634	640	653	648	677	656	648	655	649	677	700
67	上高野	329	324	339	320	333	328	326	315	311	302	500
68	修学院第二	362	377	375	397	379	375	387	372	347	323	600
69	松ヶ崎	302	335	326	322	303	333	318	329	335	351	350
70	山階	233	228	229	239	256	275	299	308	316	320	500
71	西野	251	263	260	269	286	286	301	322	322	319	350
72	山階南	618	624	625	631	654	649	647	627	596	583	600
73	安朱	246	229	209	208	217	218	209	214	229	227	350
74	鏡山	516	503	492	479	499	491	472	467	462	480	600
75	陵ヶ岡	341	359	358	330	328	322	304	295	289	291	500
76	音羽	285	296	307	320	321	333	344	333	325	301	500
77	音羽川	458	433	415	429	431	411	411	411	401	384	500
78	大塚	644	620	616	593	580	549	523	497	487	473	600
79	勸修	603	540	512	489	462	420	399	428	411	402	600
80	小野	546	523	518	484	475	465	442	433	424	404	500
81	百々	701	670	646	642	618	562	531	508	475	450	700
82	大宅	707	686	664	675	670	668	652	620	603	563	700
83	嵯峨	497	506	538	530	519	510	515	510	524	520	700
84	広沢	345	331	336	336	330	333	340	357	362	365	500
85	嵐山	396	401	396	398	385	369	356	345	321	303	500
86	常磐野	604	586	565	573	561	549	553	571	562	573	600
87	嵯峨野	763	718	682	686	653	658	621	624	607	564	700
88	御室	333	334	330	323	319	310	339	339	347	341	500
89	宇多野	453	455	472	472	469	475	471	449	432	432	500
90	花園	214	214	226	225	220	214	212	208	207	205	500
91	高雄	124	117	114	116	99	83	80	74	75	69	350
92	太秦	967	970	919	877	873	892	895	855	839	832	800
93	南太秦	320	304	298	262	271	259	240	228	220	221	500
94	安井	325	307	306	308	306	320	327	342	346	376	500
95	西院	844	866	895	896	938	943	946	948	913	912	1,000
96	山ノ内	381	395	401	423	406	415	429	407	399	379	600
97	梅津	541	542	529	526	514	498	481	481	481	486	600
98	梅津北	380	381	377	375	364	380	396	378	365	353	500

No.	小学校名	児童数										調理能力
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
99	西 京 極	677	657	636	606	598	560	547	545	544	542	600
100	西 京 極 西	289	289	264	251	250	246	251	248	262	257	500
101	葛 野	482	477	467	466	495	507	519	512	503	507	500
102	川 岡	519	529	506	528	539	527	530	527	540	508	600
103	川 岡 東	449	420	419	394	406	410	427	428	427	432	500
104	檜 原	739	779	755	795	803	810	850	851	882	881	700
105	松 尾	798	753	687	669	665	643	619	614	615	599	600
106	嵐 山 東	339	323	324	325	320	299	293	292	295	283	500
107	松 陽	533	524	530	533	539	526	520	536	518	508	500
108	桂	360	336	320	318	323	325	321	334	352	334	500
109	桂 徳	454	461	474	478	473	477	482	469	474	494	500
110	桂 川	743	696	682	657	629	628	599	599	611	607	700
111	桂 東	528	517	507	507	499	503	487	474	469	460	500
112	大 枝	329	332	335	313	318	294	280	260	240	251	500
113	桂 坂	777	737	715	698	669	659	611	594	561	533	600
114	新 林	397	388	387	363	356	346	334	329	321	323	500
115	境 谷	230	220	221	219	202	195	193	184	180	166	500
116	上 里	272	260	277	288	289	282	265	261	264	253	500
117	大 原 野	222	220	208	212	205	195	206	194	193	172	500
118	深 草	736	707	699	696	704	712	718	729	735	758	700
119	稲 荷	177	167	170	160	161	151	150	139	132	139	350
120	藤 ノ 森	551	572	569	568	573	554	565	561	591	586	600
121	藤 城	402	419	441	422	428	429	415	416	429	423	500
122	砂 川	506	489	475	457	451	431	429	420	394	383	600
123	竹 田	384	371	361	360	357	348	330	323	316	300	500
124	桃 山	535	520	505	501	493	477	472	456	452	450	600
125	桃 山 東	430	442	464	469	485	516	516	501	526	503	500
126	桃 山 南	344	339	331	336	341	338	348	364	366	366	500
127	醍 醐	374	354	342	308	313	300	300	299	302	299	500
128	池 田	275	286	273	256	235	220	223	193	181	159	350
129	池 田 東	237	239	236	245	247	248	239	239	217	208	350
130	春 日 野	299	296	287	279	274	273	272	261	258	269	500
131	日 野	605	594	611	603	581	543	507	459	412	370	700
132	醍 醐 西	224	220	215	221	206	181	165	141	143	128	350
133	北 醍 醐	175	174	162	160	167	149	156	154	165	160	350
134	伏 見 板 橋	499	509	528	549	561	560	559	550	542	507	600
135	伏 見 南 浜	509	514	532	529	544	546	552	547	532	532	600
136	伏 見 住 吉	441	445	442	440	415	387	371	361	347	324	500
137	下 烏 羽	470	430	412	406	382	346	336	309	297	285	500
138	横 大 路	174	179	191	202	220	225	225	216	200	185	350
139	納 所	320	316	301	284	265	247	238	235	220	226	350
140	向 島	262	256	260	239	229	195	211	204	205	220	350
141	向 島 藤 の 木	193	194	189	167	167	163	152	146	122	123	350
142	神 川	751	754	748	735	720	705	681	654	639	622	600
143	久 我 の 杜	756	738	731	693	659	629	596	561	512	504	600
144	羽 束 師	840	811	769	754	770	707	684	664	635	651	700
145	明 親	332	331	347	348	382	379	375	395	428	429	500
146	美 豆	348	341	327	331	325	304	279	266	255	228	350

3 親子調理方式による給食施設に係る建築基準法上の用途の取扱いについて

建築基準法における「工場」とは、平成5年6月25日付け建設省住指発第225号で「通例職工を使用し製造若しくは加工又は仕上、仕分、包装、荷造等の作業を或期間継続して為すを目的とする一定の場所」と示されており、これを踏まえると、複数の学校を対象とした給食施設（親子調理方式による給食施設を含む。）は工場に該当するものと全国的に取り扱われている。

建築基準法第48条の規定（用途規制）によれば、工場に該当する給食施設は、原則、住居専用地域では建築することができず、工業地域又は準工業地域には建築することができる。

なお、工場が建築可能な用途地域以外においても、建築基準法第48条各項のただし書の規定に基づく用途の許可を受けることによって建築が可能となる場合もあるが、許可の可否については個々の建築計画ごとに判断される。